



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場会社名 コーア商事ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9273 URL <https://www.koashoji-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 首藤 利幸
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 小松 美代子 TEL 045 (560) 6607
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績（2022年7月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年6月期第2四半期	11,166	7.8	2,160	△0.3	2,176	1.4	1,394	△0.2
2022年6月期第2四半期	10,355	21.0	2,167	36.0	2,146	30.6	1,397	24.1

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 1,327百万円 (△6.4%) 2022年6月期第2四半期 1,418百万円 (27.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年6月期第2四半期	35.19	—
2022年6月期第2四半期	35.28	—

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年6月期第2四半期	27,626	19,557	70.8
2022年6月期	26,249	18,665	71.1

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 19,557百万円 2022年6月期 18,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年6月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2023年6月期	—	0.00	—	—	—
2023年6月期（予想）	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（2023年2月10日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年6月期の連結業績予想（2022年7月1日～2023年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,200	9.1	3,950	3.7	3,950	5.2	2,450	3.8	61.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年6月期2Q	39,619,980株	2022年6月期	39,619,980株
② 期末自己株式数	2023年6月期2Q	1,356株	2022年6月期	1,356株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年6月期2Q	39,618,624株	2022年6月期2Q	39,618,668株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症再拡大の中、急激な円安の進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化による燃料価格及び原材料価格の高騰等の影響により、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境の中、新型コロナウイルス感染症による当社グループ業績への影響は軽微でありました。円安の影響は原料等の仕入価格が変動するリスクがありますが、原薬販売事業では、必要に応じ為替予約を行うことや、海外サプライヤーへの価格交渉、為替連動型の価格設定への切替等により、医薬品製造販売事業では、量産体制の推進による生産効率の向上、コスト削減、販売価格の見直し等によりリスク回避に努めております。

医薬品業界におきましては、国のジェネリック医薬品使用促進策が進められ、2022年4月の診療報酬改定では、ジェネリック医薬品のさらなる使用促進を図る観点から、ジェネリック医薬品の使用割合が高い医療機関に重点を置いた評価の見直し等が行われました。その一方で、薬機法違反を起因とする品質面に關わる問題により、ジェネリック医薬品全体で供給不安が発生し、品質や安定供給の信頼性の確保が求められております。

当社グループでは継続して製造管理や品質管理の強化を行っており、医薬品製造販売事業の主力工場では、当期の製造販売承認書と製造実態の齟齬にかかる一斉点検を既に完了させ、グループ各社間における無通告監査(抜き打ちの立入り監査)や、実地調査に赴くことがかなわない海外製造所等のリモート監査についても継続して実施しております。

また、2021年度から2年に1度の薬価改定に加え、中間年においても改定を行う毎年薬価改定が実施されることになりました。一方で今年度改定では、急激な原材料費の高騰や安定供給問題等に対応するため不採算品再算定が特例で適用されることとなり、その対応を進めております。当社グループでは医薬品製造販売事業の特長を活かしてジェネリック医薬品への置換えが比較的進んでいない高薬理活性注射剤製造に注力するとともに、一層の生産性向上と医療関係者に必要とされる医薬品の安定供給に努めてまいります。2023年1月からは蔵王工場において以前より導入を進めておりました「プラスチックシリンジ液中外観検査装置」の稼働により、増産体制の整備及び生産性の向上が見込まれております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高11,166百万円(前年同期比7.8%増)、営業利益2,160百万円(前年同期比0.3%減)、経常利益2,176百万円(前年同期比1.4%増)、法人税等の合計額782百万円を差し引いた結果、親会社株主に帰属する四半期純利益1,394百万円(前年同期比0.2%減)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

原薬販売事業

原薬販売事業におきましては、新規採用品目の伸長等により、循環器官用薬や抗生物質製剤向け原薬の販売が増加し、中枢神経系用薬向け原薬の販売が減少したものの、当連結会計年度の売上高は8,097百万円(前年同期比9.0%増)、セグメント利益は利益率の高い新規採用品目等が寄与し1,376百万円(前年同期比7.1%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高924百万円を含んでおります。

医薬品製造販売事業

医薬品製造販売事業におきましては、受託製造の主力製品が当該製品のジェネリック医薬品シェアの伸長や増産体制の推進により堅調に推移し、当連結会計年度の売上高は3,994百万円(前年同期比2.7%増)となりました。セグメント利益は売上高の増加に伴う利益の増加や収率向上による生産性の改善等で利益確保に努めたものの、円安や燃料価格高騰による原材料や水道光熱費等のコスト増加により、761百万円(前年同期比11.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

総資産は27,626百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,376百万円増加いたしました。これは主に、電子記録債権の増加946百万円、受取手形及び売掛金の増加465百万円、商品及び製品の増加301百万円、原材料及び貯蔵品の増加50百万円等があった一方で、有形固定資産の減少238百万円、現金及び預金の減少188百万円等があったことによるものであります。

負債は8,068百万円となり、前連結会計年度末に比べ484百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加556百万円、電子記録債務の増加164百万円等があった一方で、長期借入金の減少174百万円、未払費用を始めとしたその他流動負債の減少51百万円等があったことによるものであります。

純資産は19,557百万円となり、前連結会計年度末と比べ892百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益1,394百万円の計上による増加があった一方、配当金支払による減少435百万円、繰延ヘッジ損益計上による減少66百万円があったことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.3ポイント減少し、70.8%となっております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ201百万円減少し、8,220百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は518百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益2,176百万円、仕入債務の増加額720百万円があった一方で、売上債権の増加額1,411百万円、法人税等の支払額795百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は119百万円となりました。これは主に、固定資産の取得による支出104百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は600百万円となりました。これは主に、配当金の支払額436百万円、長期借入金の返済による支出150百万円等があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年6月期の連結業績予想につきましては、2022年8月10日に公表いたしました予想数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,123,370	8,935,334
受取手形及び売掛金	3,662,466	4,127,543
電子記録債権	4,169,136	5,115,235
商品及び製品	1,505,144	1,806,978
仕掛品	400,428	443,031
原材料及び貯蔵品	384,702	434,854
その他	160,572	144,318
流動資産合計	19,405,821	21,007,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,853,376	4,880,362
減価償却累計額	△2,144,793	△2,242,470
建物及び構築物 (純額)	2,708,583	2,637,892
機械装置及び運搬具	3,714,364	3,724,542
減価償却累計額	△1,910,485	△2,101,046
機械装置及び運搬具 (純額)	1,803,878	1,623,495
工具、器具及び備品	1,252,664	1,277,676
減価償却累計額	△1,032,481	△1,060,231
工具、器具及び備品 (純額)	220,182	217,444
土地	1,761,774	1,761,774
建設仮勘定	48,723	63,635
有形固定資産合計	6,543,142	6,304,242
無形固定資産		
その他	52,740	42,848
無形固定資産合計	52,740	42,848
投資その他の資産		
投資有価証券	63,731	63,544
繰延税金資産	138,633	164,600
退職給付に係る資産	34,262	27,034
その他	11,602	16,582
投資その他の資産合計	248,229	271,762
固定資産合計	6,844,113	6,618,853
資産合計	26,249,934	27,626,150

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,464,164	2,020,697
電子記録債務	658,864	822,895
短期借入金	850,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	349,904	373,904
未払法人税等	809,405	794,336
賞与引当金	48,224	35,295
その他	757,440	705,893
流動負債合計	4,938,004	5,603,022
固定負債		
長期借入金	2,291,192	2,116,240
繰延税金負債	6,311	1,906
役員退職慰労引当金	124,588	130,805
退職給付に係る負債	120,339	125,832
その他	103,666	90,445
固定負債合計	2,646,098	2,465,229
負債合計	7,584,102	8,068,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	522,277	522,277
資本剰余金	205,828	205,828
利益剰余金	17,920,673	18,879,213
自己株式	△407	△407
株主資本合計	18,648,371	19,606,911
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,990	16,166
繰延ヘッジ損益	1,469	△65,179
その他の包括利益累計額合計	17,460	△49,012
純資産合計	18,665,832	19,557,898
負債純資産合計	26,249,934	27,626,150

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
売上高	10,355,258	11,166,974
売上原価	7,196,762	7,973,282
売上総利益	3,158,496	3,193,692
販売費及び一般管理費	991,388	1,033,450
営業利益	2,167,107	2,160,241
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,372	1,841
為替差益	24,334	3,644
受取手数料	8,071	9,331
補助金収入	2,566	—
受取補償金	350	7,004
その他	585	2,820
営業外収益合計	38,279	24,641
営業外費用		
支払利息	6,757	3,949
投資有価証券評価損	—	3,071
和解金	16,000	—
自主回収関連費用	34,953	1
その他	1,362	995
営業外費用合計	59,074	8,017
経常利益	2,146,313	2,176,866
税金等調整前四半期純利益	2,146,313	2,176,866
法人税、住民税及び事業税	744,159	778,653
法人税等調整額	4,575	3,868
法人税等合計	748,735	782,522
四半期純利益	1,397,578	1,394,344
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,397,578	1,394,344

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,397,578	1,394,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,831	175
繰延ヘッジ損益	26,611	△66,649
その他の包括利益合計	20,779	△66,473
四半期包括利益	1,418,357	1,327,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,418,357	1,327,870

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,146,313	2,176,866
減価償却費	332,889	339,027
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,248	△12,929
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,476	6,216
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	3,092	7,227
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	777	5,493
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3,071
受取利息及び受取配当金	△2,372	△1,841
支払利息	6,757	3,949
補助金収入	△2,566	△766
和解金	16,000	—
為替差損益 (△は益)	△13,129	△416
固定資産除売却損益 (△は益)	248	437
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,328,691	△1,411,175
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△91,866	△394,553
仕入債務の増減額 (△は減少)	251,609	720,564
未収入金の増減額 (△は増加)	8,185	△6,967
その他	△180,151	△121,676
小計	1,137,324	1,312,525
利息及び配当金の受取額	4,546	4,115
利息の支払額	△6,401	△3,661
補助金の受取額	3,523	766
法人税等の支払額	△682,901	△795,361
和解金の支払額	△16,000	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	440,090	518,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△248,372	△104,085
定期預金の預入による支出	△79,011	△85,011
定期預金の払戻による収入	66,010	72,011
その他	△2,652	△2,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	△264,025	△119,784
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△167,618	△150,952
配当金の支払額	△395,294	△436,130
その他	△13,105	△12,971
財務活動によるキャッシュ・フロー	△576,018	△600,053
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,129	416
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△386,823	△201,037
現金及び現金同等物の期首残高	7,590,119	8,421,859
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,203,295	8,220,822

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

当社グループは、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響は限定的であるとの仮定をもとに、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを実施しております。新型コロナウイルス感染症による当社グループの経営成績への影響については軽微であり、会計上の見積りへの影響も軽微であると考えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,466,782	3,888,476	10,355,258	—	10,355,258
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,466,782	3,888,476	10,355,258	—	10,355,258
セグメント間の内部売上高 又は振替高	964,102	—	964,102	△964,102	—
計	7,430,885	3,888,476	11,319,361	△964,102	10,355,258
セグメント利益	1,285,366	862,347	2,147,713	19,394	2,167,107

(注) 1. セグメント利益の調整額19,394千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年7月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	原薬販売事業	医薬品製造販売 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,172,413	3,994,560	11,166,974	—	11,166,974
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,172,413	3,994,560	11,166,974	—	11,166,974
セグメント間の内部売上高 又は振替高	924,850	—	924,850	△924,850	—
計	8,097,264	3,994,560	12,091,824	△924,850	11,166,974
セグメント利益	1,376,943	761,038	2,137,981	22,259	2,160,241

(注) 1. セグメント利益の調整額22,259千円は、セグメント間取引の消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。